

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月17日
函館市立千代田小学校

1 本年度の重点教育目標

自ら学び 自ら行動…自らの意志で 学びを行動に

2 本年度の取組の重点

- (1) 確かな学力を育む教育の推進(個別最適) (2) 豊かな心を育む教育の推進(安心・安全)
 (3) 健やかな体の育成(安心・安全) (4) 多様なニーズに対応した取組の充実(安心・安全/個別最適)
 (5) 学校間の連携・接続、家庭・地域との連携・協働の推進(連携・協働/働き方改革)
 (6) 学校における指導体制等の充実(連携・協働/働き方改革) (7) 危機管理の徹底(安心・安全)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見(改善策など)
①確かな学力を育む教育の充実(自ら学び)	・一人ひとりに応じた指導 ・ICTの利活用 ・家庭学習の取組の推進 ・地域資源を活用した教育活動の推進	b	・授業改善とICTの活用を進め、児童が主体的に、仲間等とかかわりながら、学力を育む授業づくりを進める。 ・家庭と連携しながら学習習慣の定着をめざす。 ・地域資源や外部講師を活用した教育活動を継続する。	A	A	
②豊かな心を育む教育の推進(自ら行動)	・自己有用感や自己肯定感を感じることができる道徳教育の推進 ・家庭、外部機関、スクールカウンセラーの活用によるいじめの未然防止 ・表現や鑑賞などの学習活動	b	・教育活動全体をとおした意図的、計画的な道徳教育を推進する。 ・「できたこと」への価値づけや達成感をもたせるための支援を行う。 ・スクールカウンセラーとの連携による、いじめ未然防止教育の充実を図る。 ・考える場面や児童相互に話しあう場面の充実を図る。	A	A	
③健やかな体の育成	・学校保健、学校体育の充実 ・望ましい食習慣などを身に付ける学校給食の充実 ・発達段階に応じた安全教育	a	・体育の授業改善による健やかな体づくりを進める。 ・休み時間に体を動かして遊ぶことを奨励する。 ・栄養教諭による食育の充実を図る。	A	A	
④多様なニーズに対応した取組の充実	・児童への支援体制の充実 ・交流、合同学習の充実 ・不登校児童等への対応	b	・児童の実態等の情報共有を継続し、指導方法の共通化を図る。 ・合同学習を推進し、全教職員で指導にあたる。	A	A	
⑤学校間の連携・接続、家庭・地域との連携・協働の推進	・コミュニティスクールの活用 ・五稜郭中学校区の連携	b	・PTA やコミュニティスクールとの連携・協力による学校教育活動の充実を図る。 ・五稜郭中校区との情報共有の推進と、職員への共有化を図る。	A	A	協力的な保護者が多く、少人数でも活発な活動が成果を上げている。今後も、連携・協力を図っていく。 地域連携コーディネーターとして、CSをより知ってもらい、ご理解・ご協力いただけるよう工夫していく。
⑥学校における指導体制等の充実	・業務改善に向けた取組 ・外部人材、関係機関との連携 ・複式体制や支援体制 ・がん教育、薬物乱用教室、人権教室等の外部講師活用	a	・業務改善の推進により教育活動の充実につなげる。 ・合同授業の実施による指導の充実を図る。 ・外部講師の活用等、外部人材や関係機関との連携を継続する。	A	A	薬物乱用教室への参加がなかった。今後は、CSとして手伝いなど連携が図れないか、模索していく。
⑦危機管理の徹底	・安全、安心な学びの場の確立 ・安全指導の推進 ・いじめ問題への対応	b	・安全教室、避難訓練等の安全指導の充実を図り、自分の命を自分で守れるようにする。 ・日常の観察やアンケート、教育相談等の活用によるいじめ見逃しゼロの徹底を図る。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。